

第14回 ふるさと発見の旅

—秋—

殿の松はどこじゃ!!

南稲八妻～東畑里山、旧街道を巡る旅

開催日：11月23日（土）・27日（水）

集合：午前9：30 精華町役場1階・北玄関前
解散：午後3：30頃 けいはんなプラザ(光台1丁目)

《コース 約6km》

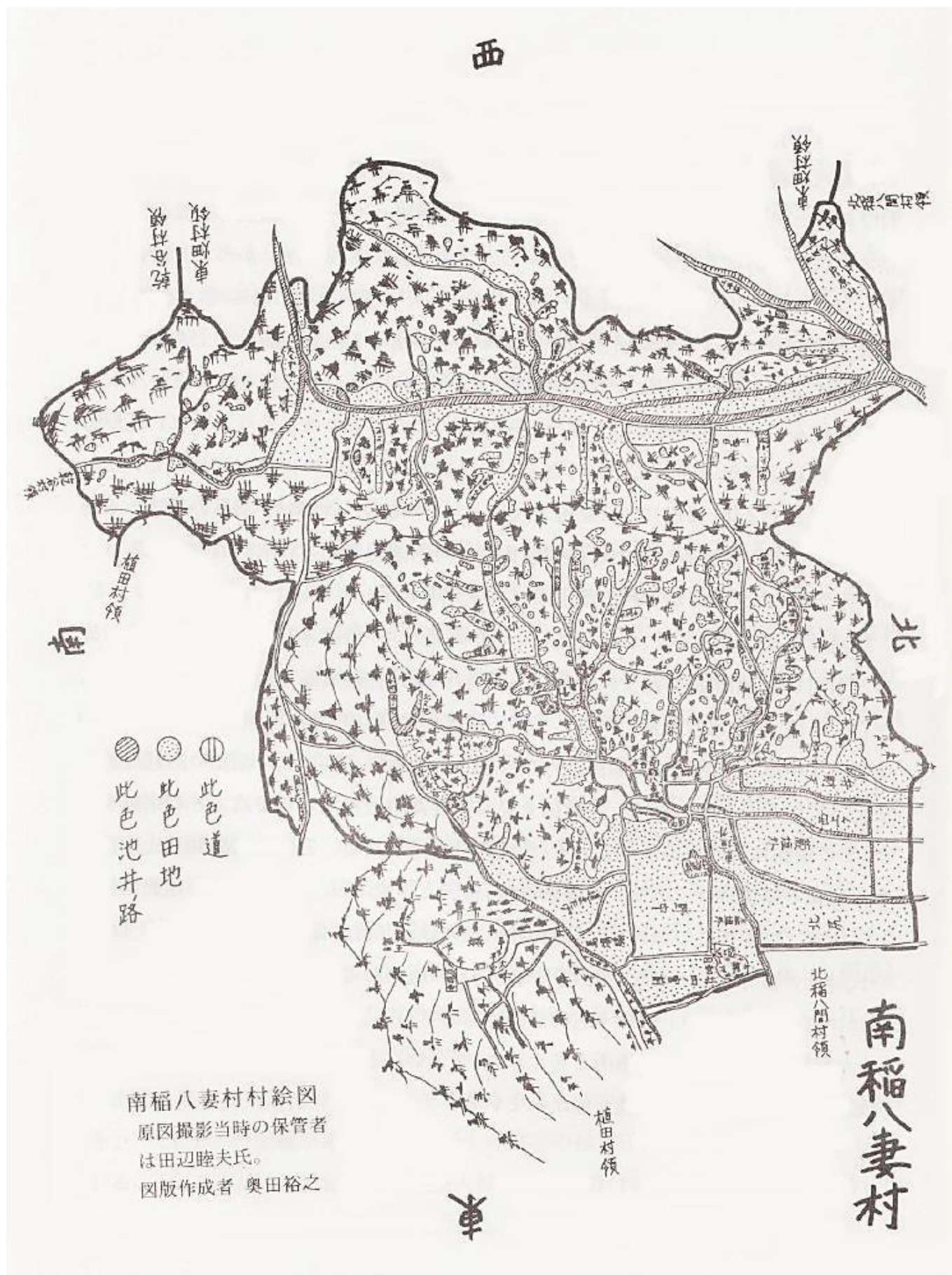
精華町役場前（スタート）

- 南稲集落 →願成寺跡 →蓮台寺
- 大崎邸庭園 →水落池 →旧四条畷街道
- 南稲八妻若狭・口谷湿地 →せいか里山
- けいはんなプラザ前（解散）



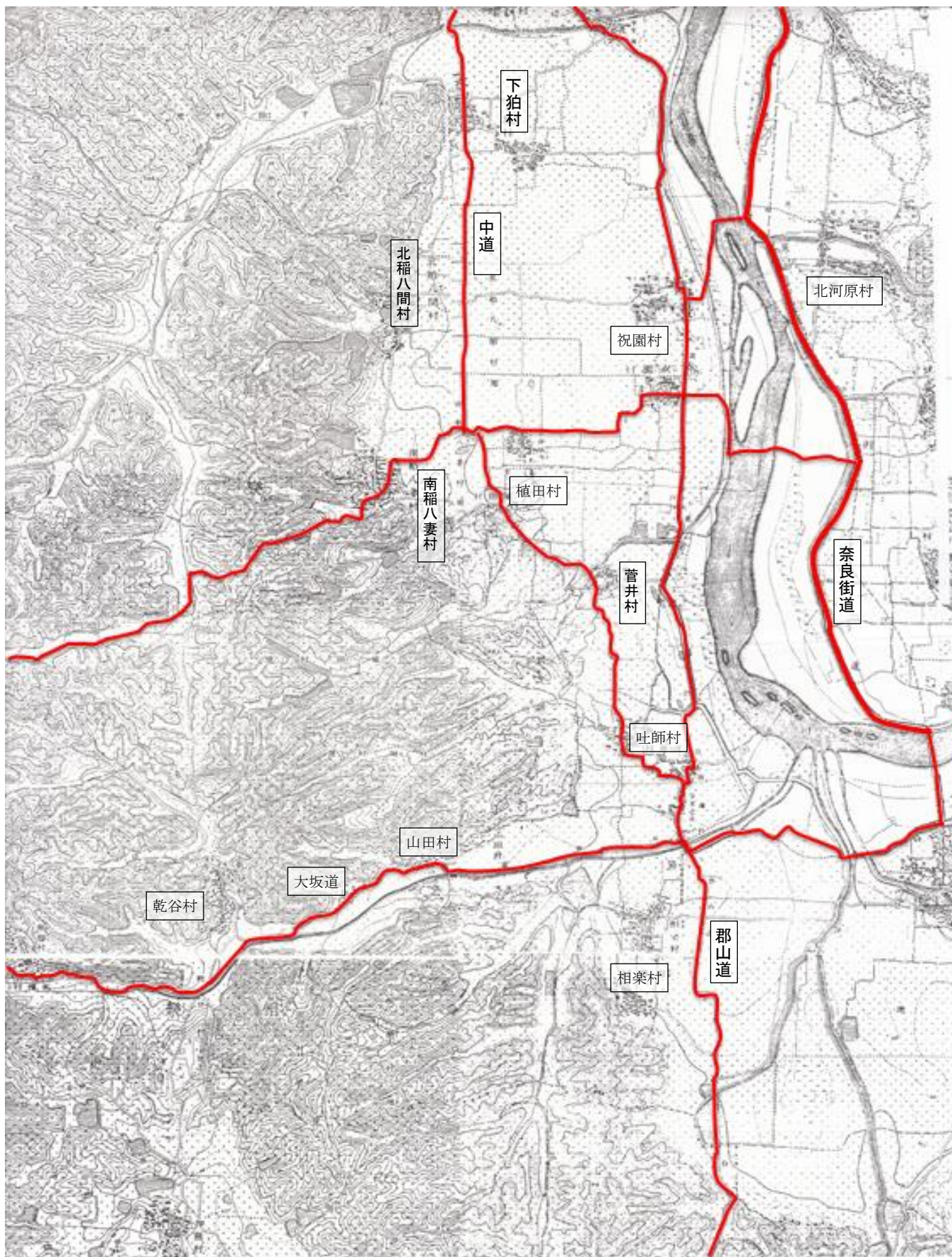
主催：公益社団法人 精華町シルバー人材センター **ふるさと案内人の会**
後援：精華町 ・ 精華町教育委員会





南稻八妻村村絵図
 原図撮影当時の保管者
 は田辺睦夫氏。
 図版作成者 奥田裕之

南稻八妻村の村絵図：旧淀藩田辺家の絵地図を、奥田裕之氏が筆写される。
 (波布理曾能第 14 号より)



明治 21 年測量地図



南稻八妻の今昔

南稻八妻の地は、北稻八間、植田の地とともに稲蜂間、稲八間、稲八妻と呼ばれ、古代より山陰・丹波地方と大和を結ぶ要路（古山陰道）として、人の行き来が盛んでした。奈良時代孝謙天皇に、地元豪族【稲蜂間氏】出身の仲村女が内侍として活躍していた。

平安・鎌倉時代には荘園等がもうけられており、室町時代には【山城國一揆】終焉の地となった【稲屋妻城】がこの付近にあった模様で、永禄 11 年（1568）には、松永久秀の領地となり家臣として稲八妻氏がこの城に入っていた模様。

江戸時代には、精華町内では珍しく一村一領主で、淀藩稲葉家の支配を受けていました。享保 14 年（1729）の資料によれば、石高は 859.128 石 109 戸だった。

明治に入り、明治 17 年（1884）の相楽郡村誌によれば、南稻八妻の田畑は 68 町余り、人口 528 人、戸数 118 戸、牡牛 65 頭、人力車 2 両であり、物産として、製茶 1600 斤、豌豆^{えんどう}30 石、大豆 30 石、大根 2700 貫目を生産し、大阪や伏見に出荷していた。

その後、南稻八妻村⇒明治 22 年（1889）稲田村⇒昭和 6 年（1931）川西村⇒昭和 26 年（1951）精華村⇒昭和 30 年（1955）精華町となり現在に至っている。

丸山



この東側にある小高い丘が丸山。

昔から野見宿禰の墳と伝えられており、南側の長い台地上には、四宮社があり、社殿と石鳥居と土俵があったそうだが、明治 38 年に稲植神社に移されたそう。また円墳とか前方後円墳ではないかとの話があったが、精華町教育委員会の調査によれば、古墳を示す出土物はなかったそう。

ただ、この丸山は地層が見られず、人工的に盛られた土砂で成立しているそう。（丸山池を築造した時の掘削土を盛ったのでは・・・）

四條躰街道

精華町には、古くから南北に走る木津川沿いの【郡山街道】と、東西に流れる山田川沿いに【大坂街道】が主街道だったが、各旧村を結ぶ間道が整備され、中道（僧坊⇒北稻⇒南稻⇒植田⇒吐師）とか四條躰街道（菅井⇒植田⇒南稻⇒東畑⇒高山）とも呼ばれていた。

この南稻丸山の地が十字に交差する地点で、ここから南稻の集落に入り、たんに【峠】と呼ばれていた急坂を超えると煤谷川が現れ、川に沿って行くと東畑にたどり着く。東畑を西に下ると高山の集落につき、そこから生駒山を越えて四條躰に至ることができ、地元の人から【四條躰街道】と呼ばれていた。



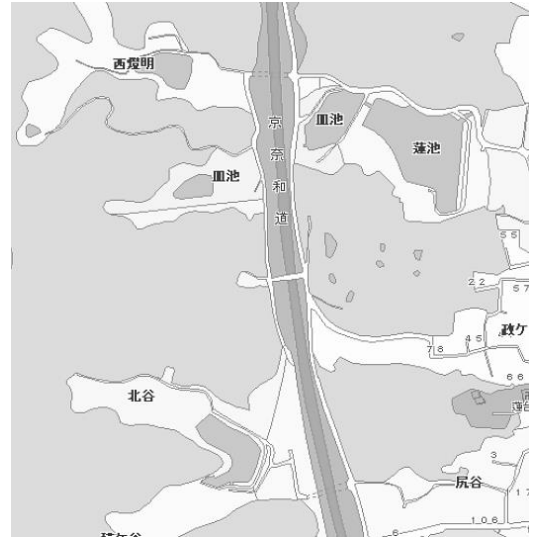
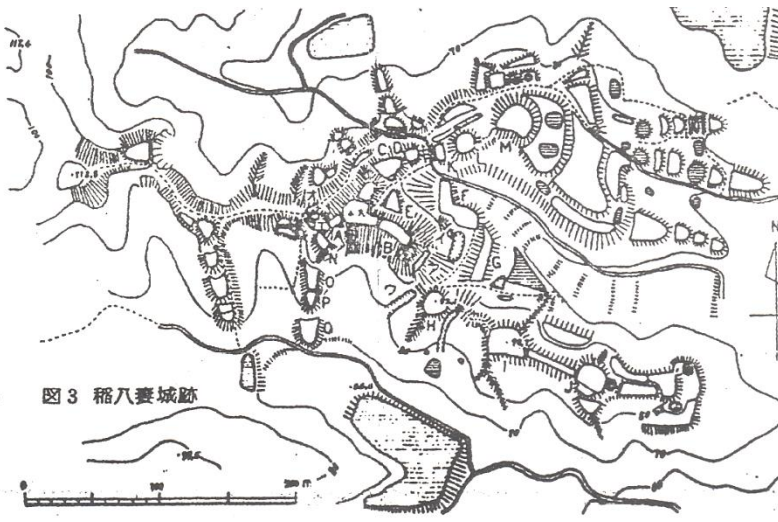
稲屋妻城址

山城國一揆の終焉の地と云われる稲屋妻城は、その存在場所が明らかでなく、①【北稻八間小字城山】現在の北稻配水池のある場所、②【南稻八妻小字焼山】、③【南稻八妻小字政ケ谷】などの説がある。

①の北稻城山の地は、南麓に逆襲の碑と呼ばれる天文 6 年（1537）と記載がある五輪塔が十数基あり、山城國一揆との関連が指摘され、國一揆の逆襲の碑といわれている。

②の南稻焼山の地は、地元で昔よりいい伝えられており、【願成寺】は山城國一揆で亡くなった方々を弔うために建てられたといわれている。

③の南稻政ケ谷の地は、地元郷土史家の奥田裕之氏が昭和 55 年に現地踏査し、平らにならされた郭や尾根を切り裂いた空堀を確認され、小字政ケ谷・北谷・尻谷・蓮池・皿池一带を城跡であると指摘されている。



波布理普能 第 1 号
一稲八妻の里をたずねるー（掲載資料図 3 より）



願成寺跡

1. 由緒 山城國一揆の最後の拠点となった稻八妻城が攻め滅ぼされた際（明応 3 年：1493）に討死した人々の慰霊のため建立されたといわれる。
明治に入り、政府の神仏分離・神道国教化政策によって、各地の仏寺・仏像などの破壊があり、その余波で願成寺も廃寺となった。時に住職 25 世享空貞雄上人は檀信徒にはかり、願成寺の薬師堂を蓮台寺に移築して、薬師瑠璃光如来とその分身である 12 神将を安置し、また聖観世音菩薩立像と西国 33 番観音霊場の 33 体の観音菩薩をも、本堂裏に壇を新設して安置した。この聖観世音菩薩は平安時代の作ともいわれる。（荒木啓運 仏師談）
2. 宗派 真言宗
3. 南山城 33 所第 12 番札所で、ご詠歌が
【いなづまや ふるあめまでも このむらに
ねがいのままの てらをためにし】



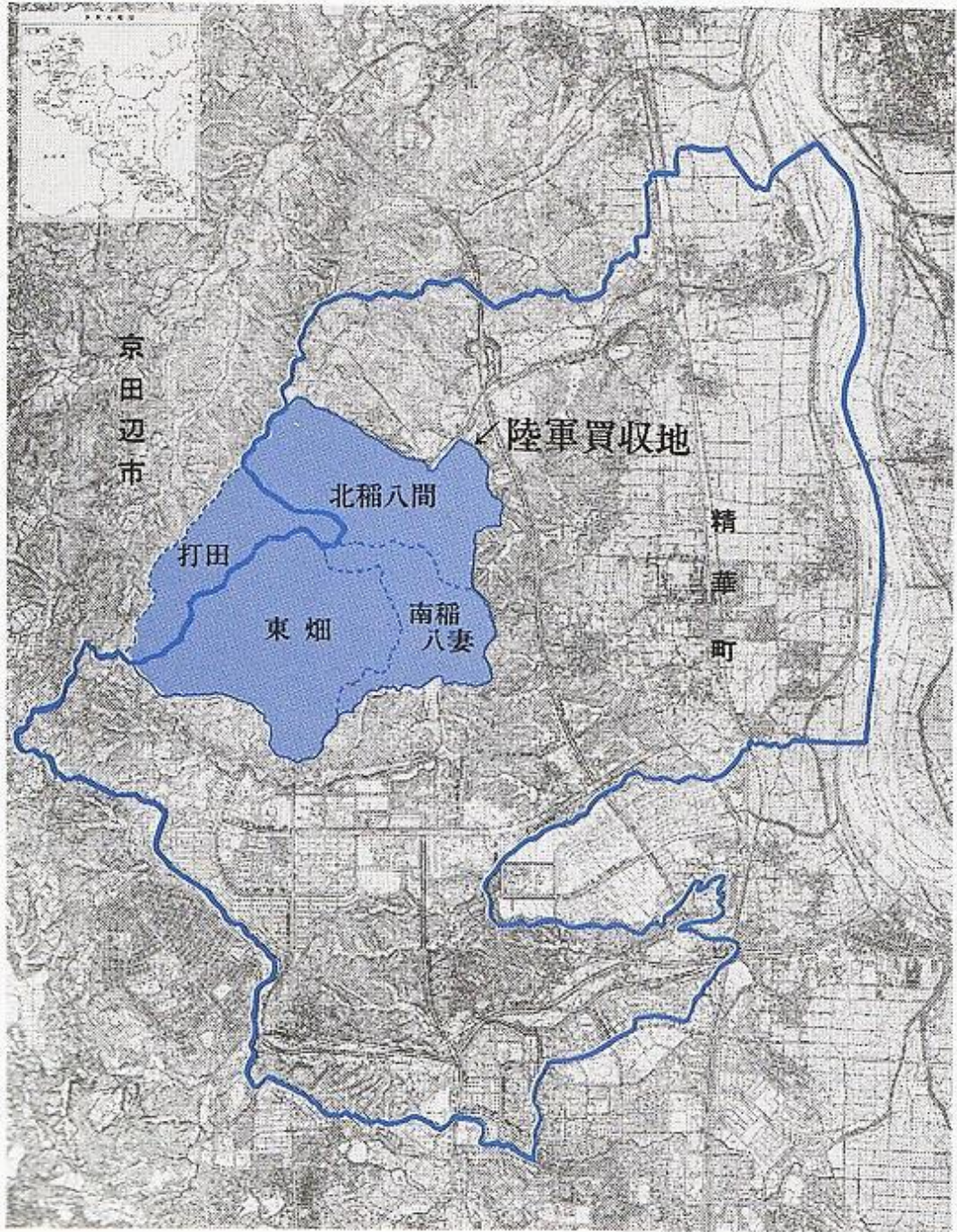
蓮台寺

1. 山号：松響山蓮台寺
2. 由緒 創立不明
文禄 2 年（1593）、寺号を青蓮庵主・仙亮大作氏の代にその名を松響山蓮台寺に変えたという。
寛文十年（1670）に本空上人弓覚大和尚が復興した。
近くにあった願成寺の仏像などが移されている。
3. 宗派 西山浄土宗
4. 本尊 阿弥陀如来坐像 江戸時代
脇侍とし、観音菩薩・勢至菩薩を従えている。共に江戸時代作
5. 観音形立像（本堂安置）：平安時代後期（10 世紀）の作
6. 地蔵菩薩立像（本堂安置）：室町時代の作
稲植神社の宮寺（東福寺）の本尊
7. 薬師如来立像（薬師堂本尊）：平安時代前期（9～10 世紀）の作 **町指定有形文化財**
堂内には日光・月光両菩薩像があるが、これは江戸時代のもの。厨子内にある天保 10 年（1839）の木札の銘文からすると、もと蓮台寺の近くにあった願成寺の像と考えられる。
銘文：
山城国相楽 郡南稻八妻 一宇
村願成寺
8. この他に、愛染明王坐像の裏面にある天保 13 年（1842）の修理銘にも願成寺重宝と記されている。また本堂裏に集められた五輪塔基部（残欠）のひとつにも**永正 7 年（1510）**の銘がある。



強制買収され、陸軍祝園弾薬庫になった陸軍用地

祝園陸軍弾薬庫がどうしてここに・・・



せいか歴史物語より写真引用

若狭・口谷湿地・里山の道



せいか里山

精華町では、平成 19 年度に公募による住民活動の里山づくりワークショップ（共同作業）が 4 回実施され、町有地を活用して住民と行政との協働による里山づくりの取り組みが始まりました。

平成 20 年度には、こうした取り組みを踏まえて持続的な里山づくり方策を具体的に検討するための準備会が 6 回開催され、準備会での議論を踏まえて、東畑地区を里山づくりの先導的な活動拠点とし、さらに精華町全体の里山づくりを展望して、「せいか里山の会」が設立されました。

せいか里山の会・会則

（目的）第 1 条 本会は、東畑地区を里山づくりの先導的な活動拠点として、里山の保全・再生、利活用を行い、ひいては精華町全体に広げ発展させることを目的とする。



せいか里山の会の会員は、何をしますか？

- ・里山をきれいにするための下草刈りなど毎月実施
 - ・里山の恵みを体感できる楽しいイベントを実施
 - ・みんなでわいわい楽しめればそれでいい
- テーマごとに分かれてグループ活動を行っています。
- ・農業体験、・森林体験、・生活体験、自然観察調査、
 - ・里山文化活動、・活動の普及、啓発

★保全活動は定例として、毎月第 3 土曜日の 9 時から正午まで。

★イベントとして、秋の収穫祭を毎年 10 月の日曜日に実施しています。（参加費が必要です。）



- ☆ 交通ルールの遵守
- ☆ ゴミは捨てずに持ち帰る
- ☆ 通り道の草花は絶対に摘み取らない
- ☆ トイレ等へ行ったり、途中で帰る場合は必ず引率者に連絡する

ふるさと発見の旅 ……いままで案内したところは…

- 第 1 回 『お千代半兵衛の眠る丘からけいはんな丘陵を訪ねて』
- 第 2 回 『木津川沿いを歩く』
- 第 3 回 『古の佇まいの面影を残す精華古道を歩く』
- 第 4 回 『学研都市研究施設を巡り歩く』
- 第 5 回 『山田川流域の里を歴史と文化財の謎を探りながら歩く』
- 第 6 回 『精華町最高峰「^{だけやま}嶽山」にいだかれた里 東畑を訪ねて』
- 第 7 回 『祝園八景を探る旅』
- 第 8 回 『山城の国一揆終焉の地を訪ねて』
- 第 9 回 『南山城三十三所巡り in 精華』
- 第10回 『河井寛次郎がこよなく愛した 菅井～植田の里巡り』
- 第11回 『知っているようで知らない 精華学研都市を巡る旅』
- 第12回 『山城國菱田村絵図でたどる 晩秋の藪の渡しと三つの春日神社』
- 第13回 『桜咲く大坂道を歩こう！ ～山田・乾谷・柘榴の里～』

詳細資料は「精華町ホームページ」に掲載していますのでご覧ください。

・精華町ホームページ ⇒ <http://www.town.seika.kyoto.jp/>

トップ ⇒ 観光・史跡 ⇒ 精華町ふるさと案内人の会 ⇒ ふるさと案内人の会「ふるさと発見の旅」

公益社団法人 精華町シルバー人材センター
ふるさと案内人の会

〒619-0244 京都府相楽郡精華町北稻八間井手ノ元27-1
TEL 0774-98-0510 FAX 0774-98-0670
e-mail seika@sjc.ne.jp